

選挙での敗北は「償い」になるか
－「裏金議員」の選挙当落を対象とした RDD による検証－

Online appendix

A. 被験者に表示された調査画面

非裏金議員選挙区

あなたがお住いの小選挙区から、先日の衆院選で出馬していた自民党・公明党候補者について、あなたがどのようにお考えかうかがいます。もし好意も反感も持たない時には 50 としてください。もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて 51～100 の間の数字を教えてください（数字が大きいほど好感が強いことを意味する）。また、反感を感じていれば、やはりその強さに応じて 0～49 の間の数字を教えてください（数字が小さいほど反感が強いことを意味する）。

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

小選挙区の自民党・公明党候補者



裏金議員選挙区（例として東京 11 区の下村博文）

あなたがお住いの小選挙区から、先日の衆院選で出馬していた下村博文氏に対して、あなたがどのようにお考えかうかがいます。

もし好意も反感も持たない時には 50 としてください。もし好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて 51～100の間の数字を教えてください（数字が大きいほど好感が強いことを意味する）。また、反感を感じていれば、やはりその強さに応じて 0～49の間の数字を教えてください（数字が小さいほど反感が強いことを意味する）。

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

下村博文氏に対する感情



B. 各モデルごとの結果

モデル	バンド幅内の 観測数 (勝利群／敗北群)	バ ン ド 幅 (h)	補正バンド 幅(b)	LATE	標準誤差	p 値
triangular \times mserd	57 / 95	0.140	0.226	-16.030	7.397	0.035
triangular \times msetwo	32/52	0.072	0.183	-37.052	16.019	0.003
uniform \times mserd	57/ 110	0.151	0.279	-13.341	6.875	0.029
uniform \times msetwo	32/59	0.096	0.194	-18.392	11.064	0.098
epanechnikov \times mserd	43/95	0.133	0.230	-16.537	7.988	0.036
epanechnikov \times msetwo	32/52	0.068	0.178	-36.881	16.082	0.004

註 B1：筆者作成。

註 B2：全て共変量ありのモデル。

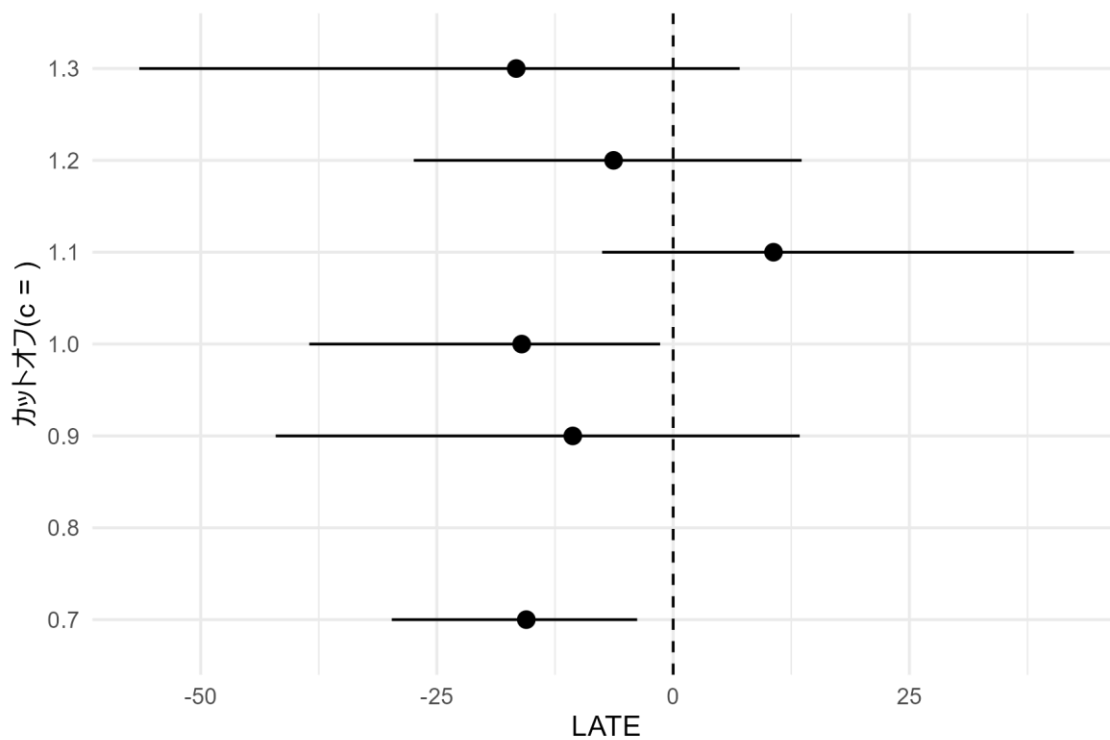
註 B3：観測数は全て勝利群 264：379 敗北群。

註 B4：局所多項式の次数 p (order local polynomial) は全てデフォルトの 1。

註 B5：バイアス補正の次数 q (order bias) は全てデフォルトの 2。

註 B6：標準誤差と p 値はバイアス補正後のロバスト指定の結果。

C. カットオフを前後にずらすローリングによるプラセボテスト



註 C1：筆者作成。

註 C2：カットオフ=0.8 のみ、LATE が 500 を超えるほど不安定な結果を得たが、この図では省略している。なお、 $c=0.8$ の時も 5%水準で統計的に有意な結果は得られていない。

D. バランスチェック

変数	勝利群(n = 57)		敗北群(n = 95)		p 値
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
有権者からの好感度	44.333	28.267	40.989	23.583	0.455
男性ダミー	0.544	0.503	0.547	0.500	0.967
60 歳以上ダミー	0.263	0.444	0.189	0.394	0.304
高収入ダミー	0.140	0.350	0.168	0.376	0.643
大卒ダミー	0.368	0.487	0.453	0.500	0.309
イデオロギー	6.018	2.048	5.537	1.923	0.155
内閣支持態度	3.386	1.192	3.463	1.109	0.692
候補者の年齢	59.368	6.675	54.684	7.604	0.000
非公認ダミー	0.193	0.398	0.211	0.410	0.795

註 D1：筆者作成。

註 D2：例として triangular の mserd での最適バンド幅内のバランスチェック。